

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年3月13日
【四半期会計期間】	第17期第1四半期（自 2019年11月1日 至 2020年1月31日）
【会社名】	株式会社モルフォ
【英訳名】	Morpho, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 平賀 督基
【本店の所在の場所】	東京都千代田区西神田三丁目8番1号 千代田ファーストビル東館12階
【電話番号】	03 - 3288 - 3288（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部長 福永 寛康
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区西神田三丁目8番1号 千代田ファーストビル東館12階
【電話番号】	03 - 3288 - 3288（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部長 福永 寛康
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第1四半期 連結累計期間	第17期 第1四半期 連結累計期間	第16期
会計期間	自2018年11月1日 至2019年1月31日	自2019年11月1日 至2020年1月31日	自2018年11月1日 至2019年10月31日
売上高 (千円)	574,468	477,589	2,608,079
経常利益又は経常損失 () (千円)	72,693	36,468	542,653
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 () (千円)	13,392	49,543	339,892
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,626	38,700	298,732
純資産額 (千円)	5,452,146	5,721,014	5,759,847
総資産額 (千円)	5,740,067	6,037,566	6,121,108
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失 () (円)	2.49	9.20	63.14
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	2.48	9.16	62.89
自己資本比率 (%)	94.9	94.6	94.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、主要な関係会社における異動は、以下の通りであります。

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社モルフォAIソリューションズを、連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結会計期間より、PUX株式会社の株式を取得したことに伴い、持分法適用の範囲に含めておりません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるスマートフォン市場は、商用サービスの開始が実現されつつある新通信規格「5G」（第5世代移動通信システム）への期待感が高まる一方で、引き続き市場の成長の鈍化に加えて米中通商問題の長期化、中国経済の減速の鮮明化、英国のEU離脱問題の動向などによる海外経済の不確実性の高まりも見られ、先行きについては注視を要する状況が続いております。

人工知能(AI)を活用した関連産業の市場は、生産性向上や製品・サービス品質向上を目指す企業ニーズの高まりを受け、良好な状況が続いております。

このような状況下において当社は、2019年10月期から開始の3カ年の中期経営計画「Vision2021」を推進しております。2年目となる当連結会計年度は、引き続き「全てのカメラに知能を持たせる」をビジョンに掲げ、「モルフォ画像技術のデファクトスタンダード化」「成長スピード加速」を中期経営目標に設定し、「経営資源の重点配分」「グローバル化加速」「経営基盤強化」を施策の柱に据えて目標の達成に向けて取り組んでまいります。当第1四半期連結累計期間においては、成長スピードの加速を実現すべく、アライアンスを軸にしたオープンイノベーション推進に積極的に取り組みました。

当社技術との親和性が高いと思われるテクノロジー関連企業との連携を通じ、実用的かつ付加価値が高い製品およびサービスの短期間での市場投入や、双方の販売チャネルを生かした販売企画の拡大を狙います。

2019年12月には、グループの中核事業領域と位置付けている産業用IoTの分野において、当社の100%子会社として「株式会社モルフォAIソリューションズ」を設立いたしました。当社の画像技術を中核としつつ音声データ・テキストデータなど多様なデータを取り扱うことで、「教師データ生成・学習・モデル生成・推論」までを一気通貫でソリューションとして提供いたします。多様化する顧客ニーズに応えワンストップでの顧客課題解決を図り、当社グループの更なる収益拡大を図ります。

新たな切り口での売上構築への取り組みが活発化する一方、主軸事業であるスマートフォン向けソフトウェアのライセンスングにおいて、主に中国主要顧客からのロイヤリティ収入が伸び悩みました。受託開発の領域においては、既存顧客からの車載機器向け開発収入が減少したものの、それを十分に補うだけの新規案件の獲得には至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は477,589千円（前年同四半期比16.9%減）、営業損失は34,979千円（前年同四半期は営業利益87,416千円）、経常損失は36,468千円（前年同四半期は経常利益72,693千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は49,543千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益13,392千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,107,133千円となり前連結会計年度末に比べ213,126千円減少いたしました。これは主に仕掛品が17,298千円増加し、現金及び預金が17,662千円、売掛金が222,918千円減少したことによるものであります。固定資産は930,433千円となり、前連結会計年度末に比べ129,585千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が130,466千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,037,566千円となり、前連結会計年度末に比べ83,541千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は287,207千円となり前連結会計年度末に比べ44,069千円減少いたしました。これは主に前受金が19,223千円増加し、未払法人税等が35,396千円、賞与引当金が32,335千円減少したことによるものであります。固定負債は29,344千円となり、前連結会計年度末に比べ638千円減少いたしました。これは主にリース債務が730千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、316,552千円となり、前連結会計年度末に比べ44,708千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,721,014千円となり前連結会計年度末に比べ38,832千円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が10,548千円増加し、利益剰余金が49,543千円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、121,442千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	13,800,000
計	13,800,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年1月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年3月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,388,200	5,390,000	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。また、1単元の株式数は100株であります。
計	5,388,200	5,390,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2020年3月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年11月1日～ 2020年1月31日	-	5,388,200	-	1,773,418	-	1,722,088

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年10月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年1月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,381,900	53,819	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。また、1単元の株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 4,600	-	-
発行済株式総数	5,388,200	-	-
総株主の議決権	-	53,819	-

【自己株式等】

2020年1月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社モルフォ	東京都千代田区西神田3-8-1	1,700	-	1,700	0.03
計	-	1,700	-	1,700	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年11月1日から2020年1月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,777,838	4,760,175
売掛金	487,474	264,555
仕掛品	6,192	23,491
前払費用	39,935	37,246
その他	23,839	28,024
貸倒引当金	15,020	6,359
流動資産合計	5,320,260	5,107,133
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	38,921	37,577
工具、器具及び備品(純額)	92,161	89,156
リース資産(純額)	2,878	2,706
有形固定資産合計	133,961	129,440
無形固定資産		
ソフトウェア	48,828	42,753
のれん	259,586	252,899
その他	4,420	4,713
無形固定資産合計	312,835	300,366
投資その他の資産		
投資有価証券	22,469	152,935
敷金及び保証金	98,042	104,119
繰延税金資産	212,185	220,917
破産更生債権等	67,911	67,911
その他	3,001	4,303
貸倒引当金	49,560	49,560
投資その他の資産合計	354,050	500,626
固定資産合計	800,847	930,433
資産合計	6,121,108	6,037,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,216	41,731
未払金	69,558	66,666
未払法人税等	41,341	5,945
未払費用	21,297	18,874
前受金	120,030	139,253
預り金	6,122	13,837
未払消費税等	2,997	-
賞与引当金	32,335	-
その他	376	898
流動負債合計	331,277	287,207
固定負債		
リース債務	1,613	882
資産除去債務	28,370	28,462
固定負債合計	29,983	29,344
負債合計	361,260	316,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,773,418	1,773,418
資本剰余金	1,722,088	1,722,088
利益剰余金	2,292,853	2,243,309
自己株式	10,781	10,913
株主資本合計	5,777,580	5,727,903
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	24,390	13,841
その他の包括利益累計額合計	24,390	13,841
非支配株主持分	6,657	6,952
純資産合計	5,759,847	5,721,014
負債純資産合計	6,121,108	6,037,566

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
売上高	574,468	477,589
売上原価	143,802	120,552
売上総利益	430,665	357,036
販売費及び一般管理費	343,248	392,016
営業利益又は営業損失()	87,416	34,979
営業外収益		
受取利息	0	35
その他	539	149
営業外収益合計	539	184
営業外費用		
支払利息	21	180
為替差損	15,241	1,492
その他	0	-
営業外費用合計	15,263	1,673
経常利益又は経常損失()	72,693	36,468
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	72,693	36,468
法人税、住民税及び事業税	35,885	21,772
法人税等調整額	20,408	8,731
法人税等合計	56,293	13,041
四半期純利益又は四半期純損失()	16,399	49,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,007	33
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失()	13,392	49,543

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	16,399	49,510
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	21,026	10,809
その他の包括利益合計	21,026	10,809
四半期包括利益	4,626	38,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,415	38,995
非支配株主に係る四半期包括利益	2,789	295

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社モルフォAIソリューションズを、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、PUX株式会社の株式を取得したことに伴い、持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
減価償却費	14,817千円	19,603千円
のれんの償却額	17,704	14,524

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	2円49銭	9円20銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円)	13,392	49,543
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	13,392	49,543
普通株式の期中平均株式数(株)	5,381,100	5,386,440
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	2円48銭	9円16銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(株)	22,549	20,905
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年3月12日

株式会社 モルフォ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小堀 一英 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大辻 隼人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社モルフォの2019年11月1日から2020年10月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年11月1日から2020年1月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社モルフォ及び連結子会社の2020年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。